



QuarkXPress 2016の新機能



目次

QuarkXPress 2016の新機能.....	3
ネイティブのQuarkXPressオブジェクト.....	4
既存のアイテムからネイティブのQuarkXPressオブジェクトへの変換.....	4
新しいアイテムをネイティブのQuarkXPressオブジェクトとしてペーストする..	4
HTML5出版物.....	5
色の選択機能.....	6
マルチカラーブレンド.....	7
クロス参照.....	8
Windows用の新しいUI.....	9
OpenType書式セットのサポート.....	10
検索および置換機能の拡張.....	11
スペルチェックの拡張.....	12
追加のダイナミックガイド.....	13
脚注スタイルの拡張.....	14
その他の新機能.....	15
法律上の注記.....	17

QuarkXPress 2016の新機能

本書では、QuarkXPress 2016の次のような新機能について紹介します。

- ネイティブのQuarkXPressオブジェクト
- HTML5出版物
- 色の選択機能
- マルチカラーブレンド
- クロス参照
- Windows用の新しいUI
- OpenType書式セット
- 検索および置換機能の拡張
- スペルチェックの拡張
- 文末脚注スタイルの拡張
- QuarkXPress 2015のリリースによって確立された、パフォーマンス、品質、安定性を基盤とし、ユーザーから要請された多くの機能を組み込んで構築されています。
- インストールとアクティベーションのプロセスがさらに簡単になりました。
- 新しいメジャーツールチップ
- ボックスをテキストに合わせる機能
- 大きなメジャーパレット
- Mac OS Xにおけるピンチおよびズームでのタッチパッドのサポート
- ICC v4プロファイルのサポート
- コンテンツ変数の回り込み
- 箇条書き自動番号スタイルの新しいフォーマット

ネイティブのQuarkXPressオブジェクト

QuarkXPress 2016では、PDF、Illustrator、WMF、EPSファイルをネイティブのQuarkXPressオブジェクトに変換できます。また、PowerPoint、Illustrator、さらにはInDesignなど他のアプリケーションからアイテムをコピーし、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトとしてペーストできます。

これによって、次のような作業が可能になります。

- AI、WMF、またはEPSファイルとしてのみ存在するロゴを編集する。
- PDFでのみ存在する古い資料を更新する。
- PDFからカラーや組版を抽出し、QuarkXPressで使用する。

これによって生成されるオブジェクトは、ベクトル画像の完全に編集可能なベジエ版、埋め込み画像、および編集可能テキストです。カラーとフォントは自動的に抽出されません。

既存のアイテムからネイティブのQuarkXPressオブジェクトへの変換

ドキュメントに取り込まれたPDF、Illustrator、WMF、EPSファイルを、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトへ変換できます。

新しいアイテムをネイティブのQuarkXPressオブジェクトとしてペーストする

コピーアンドペーストを使用して、ドキュメントに新しいアイテムを、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトとして追加できます。PowerPoint、Illustrator、さらにはInDesignなど他のアプリケーションからアイテムをコピーし、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトとしてペーストできます。

- ➡ アプリケーションからアイテムをコピーし、ネイティブのオブジェクトとしてQuarkXPressへペーストした場合、コピー元のアプリケーションがどのアイテムを、どのようにクリップボードに置くかによって結果が異なります。たとえば、一部のアプリケーションはベクトル情報を画像としてのみクリップボードへ置く、または自分用のクリップボードをプライベートにマークします。この場合、ネイティブオブジェクトとしてペーストしたときに画像として取り込まれるか、またはペーストのオプションを使用できなくなります。このような場合、最初の方法（アイテムをPDFとして取り込んでから、ネイティブのQuarkXPressオブジェクトへ変換する）を使用してください。

HTML5出版物

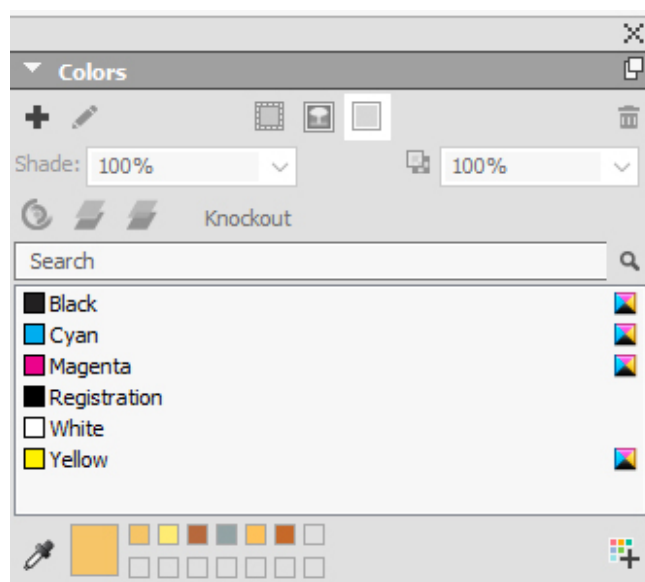
新しいデジタルパブリッシングの機能拡張により、追加ソフトウェアなしにHTML5出版物を作成できます。新しい出版物を作成することも、印刷レイアウトをデジタルレイアウトへ変換し、HTML5出版物として書き出すこともできます。これによって、Webで見やすいデジタル出版物を作成し、標準に基づいたファイルフォーマットを使用して、追加コストなしに簡単に配布できます。

デジタルパブリッシングには、次のような機能拡張が含まれています。

- **新しいデジタルレイアウトタイプ。**このレイアウトは、HTML5をサポートし、オーディオ、ビデオ、スライドショー、アニメーション、360° 画像、ボタンなどのインタラクティブ機能も追加できるなど、App Studioの多くの機能を引き継いでいます。今日使用されているどのデスクトップPC、タブレット、モバイルブラウザでも、アプリと同様の環境を使用して、ピクセル単位で正確なレイアウトを作成し、希望するインタラクティブ機能を含めることができます。
デジタルレイアウト用の新しいプロジェクトダイアログには、ターゲットデバイスを選択するオプションがあります。ユーザーは、カスタムのデバイスとサイズを作成し、保存してから、**新規プロジェクトダイアログ**で選択して再利用できます。また、ユーザーは方向として**両方**を選択できます。この場合は垂直方向と水平方向の2つのレイアウトが作成されます。
- **レイアウトをHTML5出版物として書き出すオプション。**出力したHTML5出版物は標準ベースで、プラグインは必要なく、簡単にWebサーバーへアップロードできます。
- **HTML5出版物のプレビュー機能。**QuarkXPress 2016でHTML5出版物を書き出す前に、その出版物がサーバーでホストされたときにブラウザでどのように表示されるかを、プレビューで確認できます。
- **既存の印刷レイアウトをデジタルレイアウトとして複製する機能。**
- **多くのテキスト属性をネイティブで適用する機能。**QuarkXPress 2016では、HTML出力でボックスをグラフィックへ変換しなくても、デジタルレイアウトでネイティブに多くのテキスト属性を適用できます。この新機能により、印刷レイアウトをデジタルへ簡単に変換でき、コンテンツにHTML5のインタラクティブ機能を付け加えてから、HTML5出版物として書き出すことができます。これによって、テキストがネイティブに書き出され、ePub/Kindle/App StudioやHTML5出版物として書き出された後も選択や検索が行えます。

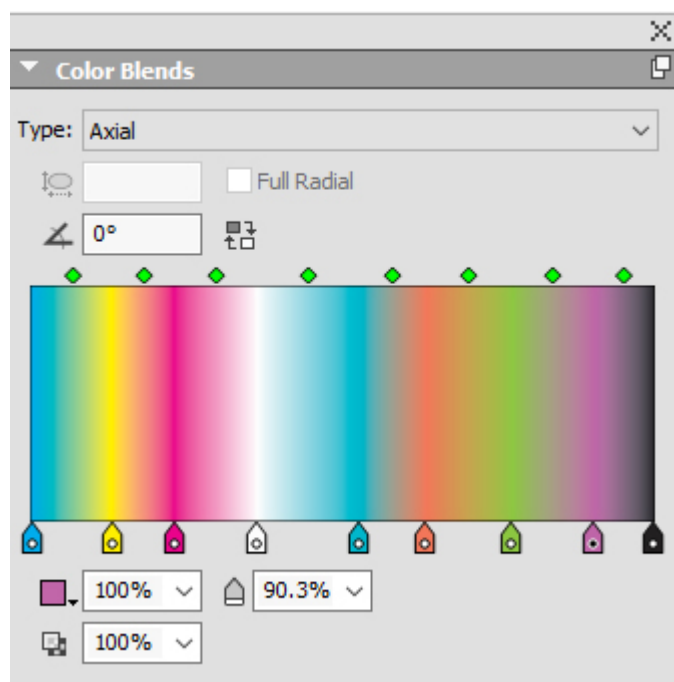
色の選択機能

QuarkXPress 2016の**カラーパレット**には、色の選択ツールが新たに追加されています。色の選択ツールを使用して、QuarkXPressのドキュメント内に配置されている、どのアイテムや画像からでも色を取り出すことができます。色の選択ツールを使用すると、複数の色を取り出してから、自由に保存または破棄できます。



マルチカラーブレンド

QuarkXPress 2016には、新しいカラーブレンドパレットが追加されています。この新しいカラーブレンドパレットでは、カスタムのカラーブレンドを作成できます。



軸方向および放射状のブレンドに、いくつでもカラーストップを作成できます。完全な放射状の設定を選択することも、縦横比を設定することもできます。カラーストップごとに、不透明度を変えることもできます。

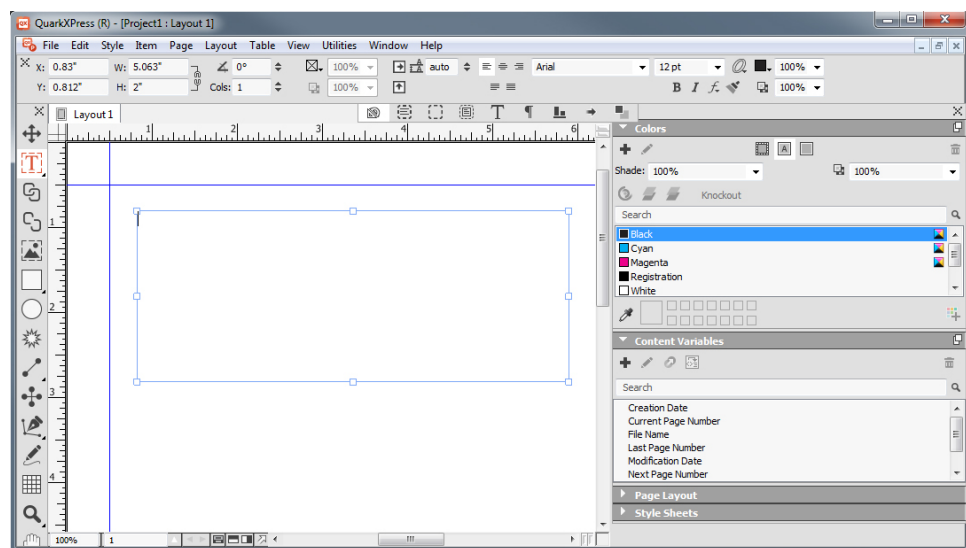
クロス参照

QuarkXPress 2016では、ドキュメントにクロス参照を挿入する機能が追加されました。ドキュメント内のクロス参照は、そのドキュメント内で別の場所に存在する関連資料を指し示すテキストです。クロス参照をハイパーリンクとして挿入し、そのドキュメントをPDFまたはデジタル出力として書き出した場合、読者がそのクロス参照をクリックすると、ドキュメント内で指定された場所へのリンクをたどることができます。

QuarkXPressのクロス参照は、脚注、文末脚注、および番号付きアイテムへリンクできます。脚注および文末脚注へのクロス参照を使用する場合、それぞれの参照ポイントについて別々の脚注や文末脚注を作成する必要はなく、同じ脚注や文末脚注へ複数の参照を設定できます。

Windows用の新しいUI

QuarkXPress 2016では、Windows用のUIが新しい合理的で効率的なものに変更され、より現代のWindowsの外観と操作性に合致しています。



OpenType書式セットのサポート

多くの代替文字を持つ一部のOpenTypeフォントでは、それらの代替文字が書式セットとして編成されています。これによって、それぞれの代替文字を個別に選択し、どの組み合わせが最も見た目が良いかを探すという、時間を浪費する作業を削減できます。

書式セットは、単語に対して別の書体を適用し、より躍動的に見せたり、非公式な雰囲気に見せたり、テキストを視覚的により注意を引くようにしたりするなど、各種の効果を生み出せるように設計されたものです。書式セットを使用すると、あらかじめ定義されているグループに従って、テキスト全体を変換できます。

書式セットは、文字スタイルシートで適用でき、**メジャー**パレットを使用してローカルに適用でき、**字形**パレットを使用して挿入できます。

書式セットを使用すると、異なる色、透明度、シェードが混在するテキストに対してOpenType変換を適用できます。

検索および置換機能の拡張

QuarkXPress 2016では、検索および置換機能が次のように拡張されています。

- 以前のテキスト検索が保存され、**検索／置換**パレットの**検索**および**置換**にあるドロップダウンメニューで確認および選択できます。
- 拡張された**検索／置換**パレットでは、改行ありまたは改行なしのスペースや文字を検索するかどうかを指定でき、改行ありまたは改行なしのスペースや文字への置換も指定できます。

スペルチェックの拡張

QuarkXPress 2016では、スペルチェック機能が次のように拡張されています。

- レイアウト全体の単語と文字の数を表示できます。
- **英文スペルチェックパレットの最後にスキップした**ボタンを使用すると、以前にスキップした単語へ戻ってスペルチェックを行うことができます。
- スペルチェックでは、表示されているレイヤーのテキストボックスのみがスキャンされます。

追加のダイナミックガイド

テキストボックスのコラム用の新しいダイナミックガイドは、現在作業しているボックスを取り囲んでいる既存のテキストボックス用ガイドに吸着するため、ボックスをこれまでより簡単に、正確に位置決めできるようになります。

新しいダイナミックガイドでは、テキストボックスのコラムガイドとコラム中心の間隔を使用して、ボックスを位置決めできます。

脚注スタイルの拡張

QuarkXPress 2016では、脚注と文末脚注にいくつかの拡張が加えられています。

脚注スタイルの編集パレットが拡張され、下記の操作を行えます。

- 文字スタイルシートと脚注／文末脚注マーカを関連付ける、または**マーカスタイル**から脚注／文末脚注マーカへスタイルを継承する。
- 脚注マーカの前に表示されるテキストを入力する。
- 脚注マーカの後に表示されるテキストを入力する。
- 脚注／文末脚注のマーカと、注釈のテキストとの間に表示される空白セパレータを選択する。

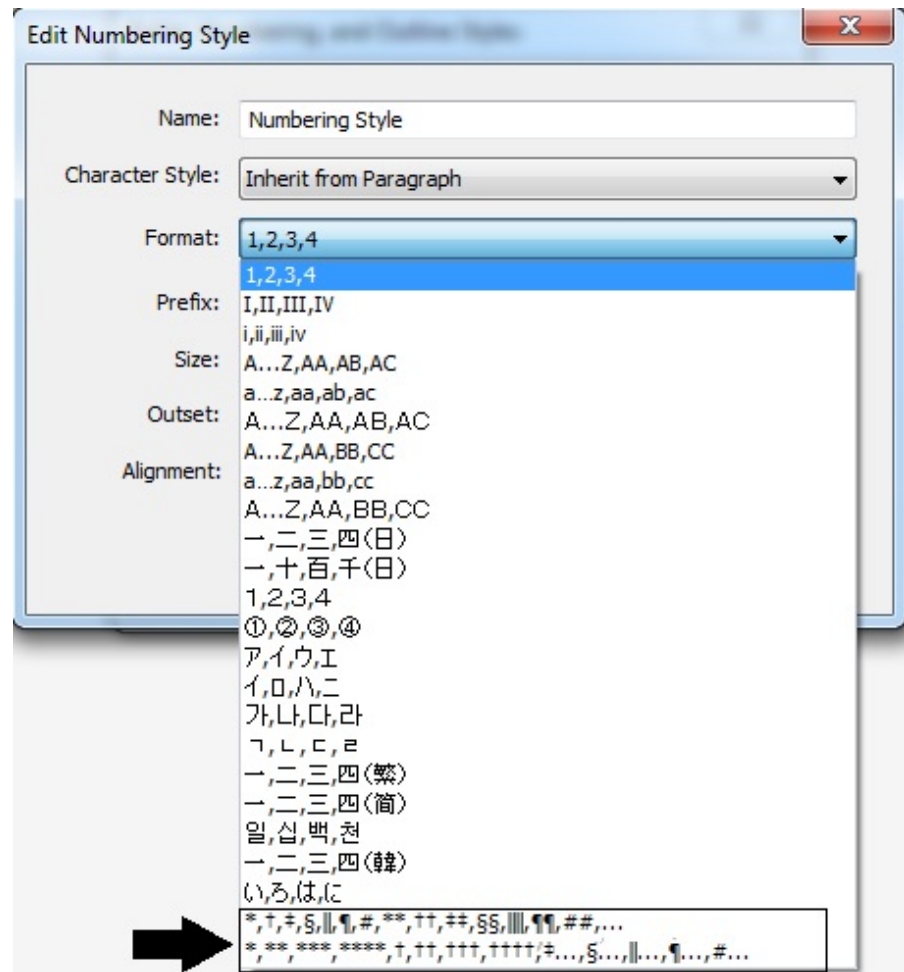
脚注セパレータのスタイルの編集パレットが拡張され、下記の操作を行えます。

- セパレータのスタイルの属性を指定するか、またはテキストと脚注との間にセパレータを表示しないことを選択する。
- 脚注が次のページやコラムへ続く場合のセパレータスタイルの属性を指定する。
- セパレータの左右のインデントオフセットを指定する。これらの値には、固定値または相対値（ボックスに対する割合）を指定できます。

その他の新機能

QuarkXPress 2016には、次のような新機能と機能拡張も含まれています。

- QuarkXPress 2015のリリースによって確立された、パフォーマンス、品質、安定性を基盤とし、ユーザーから要請された多くの機能を組み込んで構築されています。
- インストールとアクティベーションのプロセスがさらに簡単になりました。
- 要素のサイズ変更、移動、または作成を行うとき、新しいメジャーツールチップを使用できるようになりました。
- **ボックスをテキストに合わせる**：画像と同様にテキストボックスも、含まれているテキストに合わせてサイズを調整できるようになりました。
- **XDKの一貫性**：ユーザーはQuarkXPress 2016を中断なしに、ただちに使い始めることができます。プラグインインターフェイスは同じで、QuarkXPress 2015 XTensionsはQuarkXPress 2016でもそのまま動作します。
- **大きなメジャーパレット**：メジャーパレットを50%拡大するオプションが追加されました。画面が小さく解像度が高い場合に便利です。
- **ピンチおよびズームでのタッチパッドのサポート (Mac OS Xのみ)**：タッチサポートにより、指で画像のピンチ、ズーム、回転を実行できます。
- **ICC v4プロファイルのサポート**：QuarkXPress 2016では、ICC v4カラープロファイルが完全にサポートされました。
- **コンテンツ変数の回り込み**：コンテンツ変数の回り込みを選択できるようになりました。コンテンツ変数は、テキストと同様に改行され、必要に応じてハイフネーションも行われます。
- **デジタルレイアウト機能の拡張**：これらの新しいレイアウト機能は、FXL ePubs、App Studio、およびHTML5出版物のすべての出力で利用できます。HTML5レイアウト用の組版に、次のような機能が含められました。
 - テキストの両端揃え
 - テキストのハイフネーション
 - テキストの回り込み
 - テキストの垂直方向の両端揃え
- **簡条書き自動番号スタイルの新しいフォーマット**：お客様から要請された、2つの新しい簡条書き自動番号スタイルのフォーマットが追加されました。



詳しくは、『QuarkXPress 2016ガイド』または
www.quark.com/support/documentationを参照してください。

法律上の注記

©2016 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDeskは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他の各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。